

真理を求め努力を惜しまぬ生徒 互いを認め合う思いやりのある生徒 心身ともに健康で責任を果たす生徒



浜頓別町立浜頓別中学校
学校だより 第8号
R 7年10月31日発行
文責・編集・発行：教頭

よい「環境」とは

本校では、総合的な学習の時間において、浜頓別町の「環境」について学習しています。そこでは主に「自然環境」や「生活環境」について学習しています。「環境」と言葉がつくものには、他に「教育環境」、「家庭環境」、「情報環境」、「言語環境」などがあります。さて、子どもたちが育つ上でよい「環境」とは、どんなものなのでしょうか。

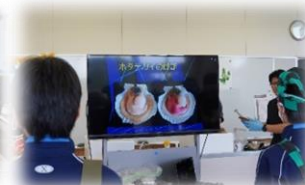


2年 植樹体験

思い描く理想的な「環境」は、おそらく一人一人違うものでしょう。なぜなら、育ってきた環境が違うからです。スキライはイナメナイのです。また、「情報環境」や「言語環境」のように、気にならなかったものもあるかもしれません。あ、スポーツには「プレー環境」という言葉もありますね。

1年

ホタテ学習



スペインのサッカー、ラ・リーガ1部レアル・ソシエダ所属の久保建英選手は、幼少期にスペインのFCバルセロナの下部組織に入団したそうです。スペイン移住に関して、保護者は「よいサッカーをする環境がより整っている」という理由で移住を決めたそうです。久保選手は、今ではラ・リーガでも有数の選手に成長し、日本代表でも中心選手の一人として活躍しています。

2年 ふるさと 交流事業



3年 商品開発



久保選手のように、移住や進学をきっかけに「環境」を変えるケースもあります。ただ、その「環境」を整えたり、創り上げたりするのは、そこで生活する人たちです。浜頓別町に住む子どもたちがどのような「環境」で育つのか。1つ1つ考えてみませんか。



1年 どんぐり 拾い

生徒会認証式
(10月6日)

ピンチはチャンス!

半導体関連事業
(10月15日)



後期始業式と併せて、生徒会認証式が行われ、校長から認証状が手渡されました。佐川生徒会長は、「自分たちが浜中生の手本になるような行動をする」と、決意を述べました。

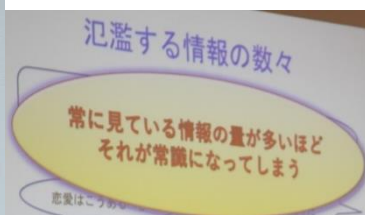
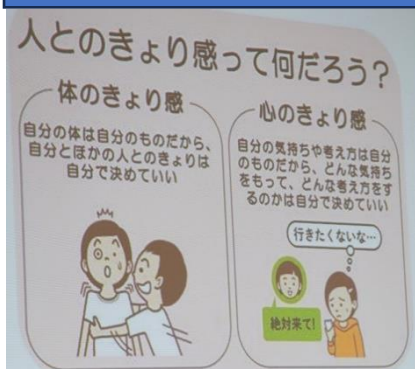


旭川工業高等専門学校から松原 英一様を講師に迎え、2年生を対象とした半導体に関わる学習を行いました。半導体の作製や活用に関わる人材育成を目的とした事業で、当日は北海道庁次世代半導体戦略室から早坂 優主幹も来校されるなど、道行政の関心の高さもうかがうことのできる1時間でした。



性に関する講話(10月16日)

名寄市で助産師をされている吉田 征子様を講師にお招きし、性に関する学習をしました。自分に自信を持つことの大切さや人との距離感、交際の仕方やあり方についてご講話いただきました。生徒たちは真剣に話を聞き、場面によっては自分の考えを述べるなど、性別を踏まえた人間関係について考えている様子でした。



『歩くことが好きな人は、ゴールを目指している人よりも遠くに歩ける』

校長 明石 貴宣

先日は初雪も降り、秋を感じる暇もなく冬の足音が近付いてきています。学校では10月より後期となり、気持ちも新たに学習に励んでいるところです。

さて、ファイターズは惜しくも日本シリーズ進出を逃しましたが、メジャーリーグではドジャースが大谷選手の異次元の活躍もあり、ワールドシリーズに進出しました。その対戦相手はトロント・ブルージェイズ。カナダ唯一のメジャーリーグ球団です。本校のALT、グラント先生はカナダ出身でブルージェイズの大ファン。とても喜んでいます。

ブルージェイズには加藤豪将さんというスタッフが在籍しています。野球に詳しい方はご存じかと思いますが、2024に引退したファイターズの元選手です。私は個人的に豪将さんを応援しているので、ワールドシリーズはブルージェイズ推しですが、このたよりが発行されるときには結果が決まっているかもしれません。

さて、加藤豪将さんがファイターズに入団した時、その思いを長文の手紙に書いたのですが、その中に豪将さんを救った言葉というのが紹介されています。生まれも育ちもアメリカでアメリカの高校からマイナーリーグでプロ野球選手になった豪将さん。10年目にして初めてメジャーに昇格するも達成感は得られず、迷いの中にいた豪将さんを救ったのは次の言葉でした。

「歩くことが好きな人は、ゴールを目指している人よりも遠くに歩ける」

豪将さんは、メジャーリーガーになること以上に、そこを目指して自分を高めるためのプロセスこそが自分の喜びだったと気付いたそうです。だからもっとうまくなりたい、もっと学び続けたい、この道を歩き続けたい、と思うことで迷いがなくなったと語っています。

11月は中学3年生にとって進路選択の時期です。高校入試は一つのゴールかもしれませんが、人生はまだまだ続きます。大事なはその先へ歩き続けること。高校生活やその先の未来、大人になった自分などをイメージして、3年生に限らず1, 2年生も含めて、「今」というプロセスを大事にしてほしいと思っています。そして、その先のプロセスも楽しめる人になってほしいと願っています。